



## 学力の向上を目指して

子どもたちが大きくなって自立し、社会の一員として働きながら豊かな人生を送ることができるようにするため、子どもたちの発達の段階に応じて必要な学力を身に付けさせることは、いつの時代にあっても学校の使命です。現代は、グローバル化、高度情報化に加えて、AIによる技術革新等により、10年後の社会がどのように変化しているのか、予測困難な時代であると言われています。そのため、例えば将来、学校では教えていないことが新しい世の中の標準(スタンダード)になったとしても、自ら学んで、それに対応できるようにするため、「確かな学力の育成(基礎学力の定着)」に加えて、「学び方」を習得させることが大切だと言われています。

本校では子どもたちの学力向上を目指して、次のような取組みを行っています。



### 今年度の重点目標

#### ◆「聴く」「伝える(表現)」「書く」力の育成 ◆「伝え合う」学びの場の創造

##### (1)「学び方」の習得

- 「さぬきっ子学びの三訓」「柞田っ子学び方三訓」を徹底する。
- 「聴き方あいうえお」「話し方かきくけこ」を意識付ける。
- 聞き合ったり、伝え合ったりする場を設定する。

##### (2) 確かな学力の育成

- 基礎学力を定着させるため、継続的に石がきテストや対話ドリルに取り組む。
- 学習習慣の確立をめざして、家庭学習の習慣化を図る。



授業中の5年1組



5年生の教室を訪問。すばらしい学習態



対話ドリル中の5年2



今年度の重点目標を確実に達成するために、さらに毎月の重点を決め、全教職員で共通実践しています。学習に関する8月・9月の重点は次のとおりです。

- ①チャイム着席100パーセントを目指そう！ ②石がきテスト全員合格を達成しよう！

石がきテストというのは、朝の柞小タイムの中で実施している漢字や計算のドリルについて、定着状況を確認する評価テストです。合格点は1～3年生は90点以上、4年生以上は学年団ごとに80点か90点に統一しています。児童に合格できたという達成感を味わわせるため、合格できるまで個別の支援を行います。さらに、苦手な児童には『石がき道場』という呼び名の放課後教室を開設して指導、支援します。

### <支えてくれる人に気付き、感謝できる人に>

8月29日(土)に、観音寺総合運動公園で三観地区陸上記録会が開催されました。コロナ禍の暑い1日で、主催者側も感染症と熱中症の両方に配慮しながらの大会運営でずいぶん気を使い、大変だったと思います。また、別の場所ではスポーツ少年団の大会も行われました。大会によって、子どもたちは自分の現在の力を確認し、次の目標ができ、またがんばろうとします。陰日向になり、大会運営等に尽力していただいた皆様に心から感謝するとともに、子どもたちには、自分を支えてくれる人がいることに気付き、感謝できる人に育ってほしいと思っています。